

問合せ

建築部 建築総務課  
☎048-829-1539

私たちが健康診断で自分の体の状態を知るように、住宅の状態も「耐震診断」で確かめてみませんか？  
さいたま市では、旧耐震基準の時代に在来工法で建てられた木造住宅を対象に、無料で耐震診断員を派遣しています。耐震診断の助成制度は他の市町村にもありますが、無料で耐震診断員を派遣しているのは、県内ではさいたま市だけです。  
では、耐震診断とはどんなことをするのか、現場に密着しました。

耐震診断は間取りの確認から始まりました。設計図面を手に耐震診断員が各部屋を回り、壁の厚み、柱や梁、スジカインなどもチェックしていきます。一通り見終わると、屋根裏に上りました。当日は真夏日。屋根裏は屋外より暑く、耐震診断員は汗だくです。次はツナギに身を包んで床下にもぐり、ほふく前進しながら調査です。そのていねいな調査ぶりにNさんも感激。各所を撮影し、基礎や外壁も確認し約2時間後終了しました。報告書は後日届けられます。

### 診断制度対象外の家も耐震性は要チェック！

診断を行ったのは西区のNさん宅。昭和55年築の家に70代のご夫婦で暮らしています。東日本大震災を機に申し込みを決めたそうです。

### 旧耐震基準の住宅に無料耐震診断を実施

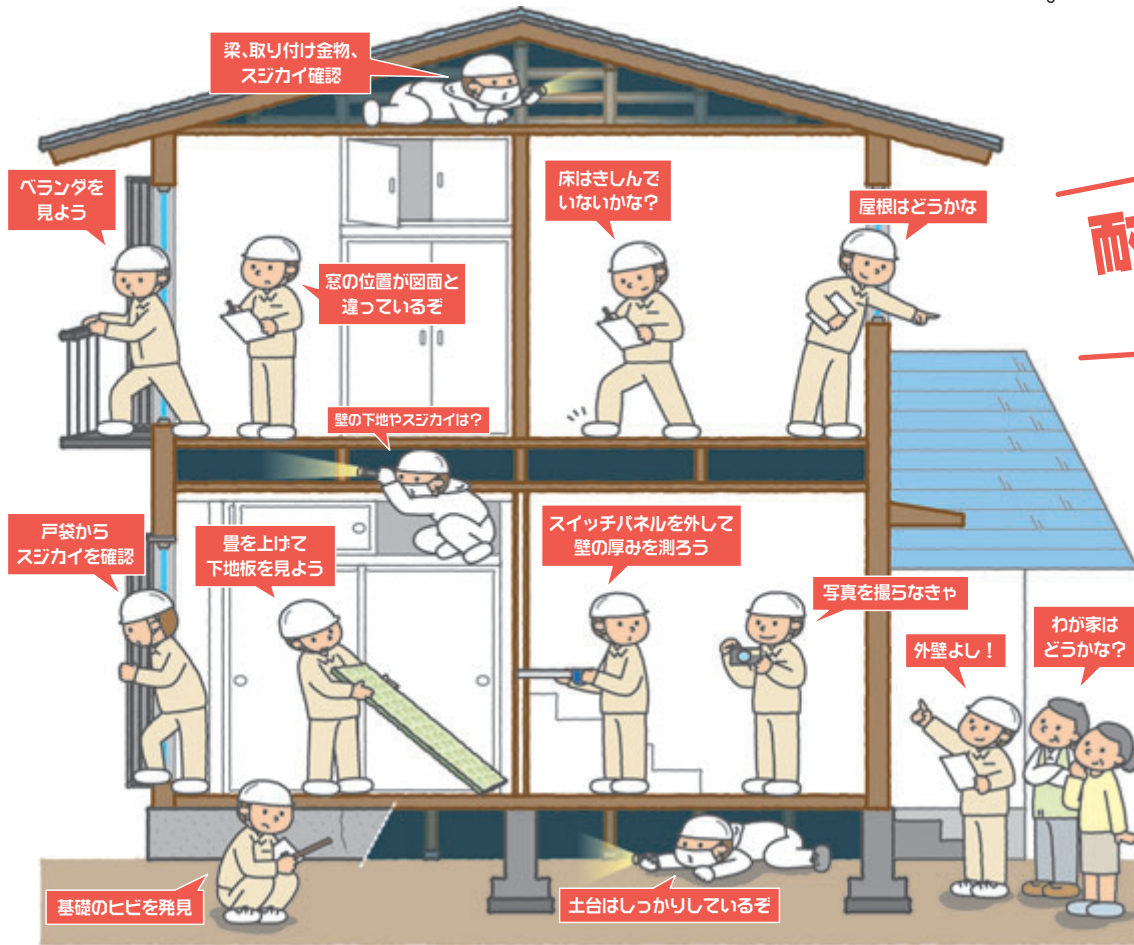
私たちが健康診断で自分の体の状態を知るように、住宅の状態も「耐震診断」で確かめてみませんか？

さいたま市では、旧耐震基準の時代に在来工法で建てられた木造住宅を対象に、無料で耐震診断員を派遣しています。耐震診断の助成制度は他の市町村にもありますが、無料で耐震診断員を派遣しているのは、県内ではさいたま市だけです。

では、耐震診断とはどんなことをするのか、現場に密着しました。

診断を行ったのは西区のNさん宅。

昭和55年築の家に70代のご夫婦で暮らしています。東日本大震災を機に申し込みを決めたそうです。



## 耐震診断はこのような行われます



東日本大震災から6か月が過ぎました。地震をきっかけに防災意識が高まった人も多いと思います。地震はいつどこで起こるかわかりませんが、関東では数十年以内にマグニチュード7.3の東京湾北部地震が起こる確率が高いといわれています。阪神・淡路大震災では、犠牲者の死因のうち9割近くが、建物や家具類の倒壊によるものでした。大地震のとき、私たちが家の中で命を落とさないうちには何に留意し備えるべきか、考えてみませんか。

### 家主 Nさんの声

無料なのでちょっと簡単な調査かと思いましたが、本格的で驚きました。漠然と不安を感じていた家の状態を具体的に知ることができ、問題への対処法がわかってよかったです。先になるかもしれないですが、報告書を参考に、耐震工事を建て替えを検討したいと思います。

専門家の方に  
見てもいえて満足！



▲報告書のサンプル。耐震診断は(財)日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」によって行われます。診断と耐震補強の提案のみで、工事の勧誘はないので安心です。

1週間後…

報告書  
完成!!



報告書は家の評点をはじめ、図面や写真と診断のポイントなどが記載され、20数ページにも及びます。それを耐震診断員が1項目ずつていねいに説明してくれます。報告書の最後には耐震補強案が提示されています。  
※報告書完成までの日程やページ数は物件によって変わります。



### 耐震診断員の用語解説

- 【耐震診断員】 関係社団法人に所属する建築士で、さいたま市が発行する「耐震診断員証」を携帯しています。
- 【旧耐震基準】 建築基準は時代によって変わります。昭和56年6月1日に建築基準法が改正され、建物の構造基準が強化されました。それ以前に着工した住宅は旧耐震基準で建てられているため、耐震性が低い場合があります。
- 【耐震性】 耐震性の目安は、震度6強の地震に見舞われても倒壊しないレベルであること。報告書の総合評価の「上部構造評点」が1.0以上であれば一応倒壊しないとされていますが、旧耐震基準のほとんどの家は1.0未満です。
- 【住宅耐震化のための助成制度】 診断で耐震性が低いと判断された住宅の補強工事、建て替え、耐震シェルター設置に対して、市が費用の一部を助成する制度があります。事前に申請が必要です。

